

< 社会教育 >

「**進行のワザを学ぼう～学級懇談・研修会・集会を充実させるために～**」

教員や公民館職員とが一緒に、普段の業務に活かせるファシリテーション（進行役）やアイスブレイクについて学びました。

日時：令和2年1月17日（金）
場所：鳥取県東部庁舎 202会議室

【ねらい】

- ファシリテーター（進行役）の役割を理解する。
- 学級懇談、研修会、集会の中で使えるいろいろなアイスブレイクの手法を学ぶ。



アイスブレイクでは、子どもから高齢者まで幅広く使えるものを体験しました。また、座ったままできるもの、動きのあるものなど様々な場でできるものも学びました。

ファシリテーションの講義では必要なスキルを学びました。

- 場のデザインのスキル
- 対人関係のスキル
- 構造化のスキル
- 合意形成のスキル

番町皿屋敷

1・2・3…と数えながら順番に手を重ねていきます。先生の「バリーン」という声とともに、次の順番の人が手をたたきます。みんなはただかれないように必死で逃げます。

いないいないバ-

二人で手を合わせ、いないいないバ-！お互い同じ方向に顔が出せればハイタッチ。お互いの動きを予想するので、合ったときには嬉しさ倍増です。

人間DNA

二人組になりじゃんけん。じゃんけんをし、あいこになった手はそのまま。相手を変えもう一度あいこを作ります。その後、あいこの手同士をくっつけて、全員で一つの輪を作ります。必ず一つの輪になるはず。

ガチンコじゃんけん大会

手と足を使ってじゃんけんをします。手と足を一緒に動かすのは意外に難しく、体と頭の体操になります。

【参加者の感想】

- アイスブレイクでは、簡単なものから体を使ったものまで教えていただいてとても参考になりました。
- 会の参加者に主体的に取り組んでいただけるようにどうすればと悩んでいたのが、大変参考になりました。
- 初対面の人たちとの話し合いが上手に行く方法はないかと思っていたので、今後の参考となる内容でした。
- 学級開きや隙間の時間にできそうなアイスブレイクをしていきたいです。
- 普段の授業でも教員は司会者ではなく、ファシリテーターとして意見を引き出していく学習をしていきたいです。
- 公民館事業に取り入れることができそうなアイスブレイクがあり、次年度の子どもたちの事業に取り入れたいと思います。
- 今までに経験のない内容の研修で、とても楽しくわかりやすくよかったです。こういう実践的な、即役に立つ研修やワークショップをこれからもお願いします。
- 聞き上手になって、たくさんの意見を引き出せるような場を作れるように頑張ろうと思います。